

おでかけ前にもまずコチラ。目的地の情報満載!  
観光・歴史・自然・宿泊・グルメ・レジャー・カルチャー・イベントなど

英公社株式会社 <http://wowmap.jp> わおマップ 検索



南部梅林 みなべ町



鹿島 みなべ町



紀州備長炭 みなべ町



梅で健康のまち みなべ町

お問い合わせは

**みなべ観光協会** 道の駅みなべうめ振興館

和歌山県日高郡みなべ町芝742 TEL(0739)74-8787

和歌山県日高郡みなべ町谷口538-1 TEL(0739)74-3444・FAX74-3665

<https://www.minabe-kankou.jp> <http://www.town.minabe.lg.jp/>



日本一の梅の郷の鎮守社  
本殿三社県指定重要文化財

紀州みなべ  
**須賀神社**

和歌山県日高郡みなべ町西本庄242  
TEL0739-74-2204 FAX0739-74-2404



道の駅みなべうめ振興館

日本一の梅の里「みなべ町」の梅の歴史や特徴を、映像や音声で楽しく学ぶことができる施設です。梅林大型パノラマ模型やマジックビジョンなど迫力あるブースから文化財や梅で染めた着物などみなべ町の情報がいっぱい。3階の物産コーナーでは町の物産も展示販売。あなたも楽しみながら梅博士になれます。【みなべ町】

- ◆開館時間/9:00~17:00 入館無料
- ◆休館日/火曜日 (祝日の場合は翌日休、2月は無休) 12月29日~31日 問)TEL 0739-74-3444



南部梅林

南部川河岸のなだらかな山々に見渡す限り梅林が続き、「一百万、香十里」と称されるほど名実ともに日本一の梅林です。白く可愛い花が山一面を飾る早春には観光客で賑わい、メジロやウグイスの美しい歌声も楽しめます。

全国の道路情報について詳しくは  
**日本道路交通情報センター**

電話番号案内Webサイト  
URL:<http://m.jartic.or.jp/>  
携帯短縮ダイヤル #8011

全国共通ダイヤル 050-3369-6666  
センターに繋がらばレターが応答

全国高速ダイヤル 050-3369-6700  
高速道路情報をお知らせ

道路交通情報Now!! <http://www.jartic.or.jp/> (PC専用)



New わお!ひろば

全国の今これ!情報なりリアルタイムで発信!

観光・グルメや全国の折得な情報!  
今"ここ"情報をお届けする  
楽しいサイトです。

<http://wowmap.jp/wmw/hiroba.html>

### みなべ・田辺のええもん紹介します。

**梅・梅加工品**  
梅干は、白干梅やしそ梅など伝統の味からハチミツ入りや減塩梅干など幅広く楽しんでいただける味や種類がいっぱい。また、梅ソースや梅シロップや梅シロップケーキなどのお菓子まで、梅のヘルシーな効果を活用した人気の加工品も盛り沢山。ぜひ、お気に入りの梅加工品を見つけてください。

**紀州名産金山寺味噌**  
米、大豆、ウリ、湯浅なす、生熟しそが入った自然発酵のおかず味噌。厳選された国産原料で、手間と時間をかけたこだわりの逸品。無添加。貝だくさん金山寺味噌は、従来品に比べ、貝が2.5倍多く入り、TVでも紹介された人気の商品。温かいご飯やキュウリなどにのせてお召し上がり下さい。

**海産物**  
紀州産に産しているみなべは、黒潮の恵みによって約800種類もの魚介類が水揚げされる海の幸の宝庫です。水産加工も盛んで、めざし・イカの一夜干し・シラスちりめん・カマスの開き・アジの開きなどの乾物が有名。新鮮で美味しい黒潮の恵みを召し上げ。

**紀州備長炭**  
近年は、消臭・除菌効果や汚水・空気の浄化作用で注目を集める備長炭。これらの特徴を活用して、水や室内の浄化、冷蔵庫や下駄箱などの消臭、ご飯を美味しく炊く、ガーデニングの土壌改良などに活用するなど、健康的な暮らしをお洒落にする様々なグッズが人気を集めています。

### 世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」

~次世代につなぐ、世界に誇るべき「農業システム」~

**みなべ・田辺の梅システムとは**

養分が少なく傾斜で崩れやすい斜面を活用して薪炭林を残しつつ梅林を配置し、400年にわたる高品質な梅を持続的に生産してきた農業システムです。

人々は、里山の斜面を梅林として利用し、その恩恵に、薪炭林を残すことで、水涵養や崩落防止等の機能を果たせ、薪炭林に住むニホンミミズを利用した梅の受粉、長い梅栽培の歴史の中で培われた遺伝子資源、薪炭林のウバメガシを活用した製炭など、地域の資源を有効に活用して、梅を中心とした農業を行い、生活を支えてきました。また、人々のそうした活動は、生物多様性、独特の景観、農文化を育んできました。

※水涵養とは「森林の土壌が、雨水を吸収して水源を確保すること」